



エコアクション21[®]
認証番号 0007502

エコアクション21

環境経営レポート 2024

【対象期間】 2023 年 4 月～2024 年 3 月



2024 年 7 月1日 発行



ARIAKE

建設・補償コンサルタント

株式会社 A R I A K E

Contents

Information

1	会社概要	1
---	------------	---

Plan

2	環境経営方針	3
3	エコアクション21実施体制	5

Do

4	環境経営目標〔中期環境経営目標〕	6
5	主な環境活動	8
6	環境活動の取り組み結果の評価及び今後の取り組み	9
7	SDGsへの取り組み	15

Check

8	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価・結果 並びに違反・訴訟等の有無	21
---	--	----

Act

9	代表者による全体評価と見直しの結果	23
---	-------------------------	----

Topics

10	環境活動の紹介	24
----	---------------	----

1

会社概要

1. 事業所

株式会社 ARIAKE
代表取締役 藤本 祐二

2. 所在地 [対象組織・事業所]

【1】株式会社 ARIAKE

本社 熊本県熊本市南区幸田2丁目7番1号
玉名支社 熊本県玉名市立願寺189番地1
天草営業所 熊本県天草市本渡町広瀬2-8
八代営業所 熊本県八代市旭中央通6-6旭中央ビル3F
球磨営業所 熊本県球磨郡多良木町大字多良木字桑木丸1521-42
五木出張所 熊本県球磨郡五木村甲字下手2672-22
山都出張所 熊本県上益城郡山都町瀬貝50-1
上天草営業所 熊本県上天草市松島町今泉4088-8
福岡営業所 福岡県福津市宮司五丁目24-11
山口営業所 山口県山口市小郡下郷23-1
下関営業所 山口県下関市生野町1-5-10

【2】株式会社建設サポートセンター [関連会社]

本社 熊本県熊本市南区幸田2丁目7番1号

【3】株式会社ジョーナンテクニカル [関連会社]

本社 熊本県熊本市南区幸田2丁目7番1号

3. 事業（活動）の内容 [対象事業所]

測量業務、建設コンサルタント業務、補償コンサルタント業務、
不動産鑑定業務、文化財調査業務、システム開発

	測量	建設コンサルタント	補償コンサルタント	不動産鑑定	文化財調査	システム開発
(株) ARIAKE	○	○	○	○	○	○
(株) 建設サポートセンター	○	○				○
(株) ジョーナンテクニカル	○	○				

4. 事業の規模

【創業】昭和38年11月29日 【資本金】10,000,000円
【社員数】106人（2024年3月31日現在）
【売上高】1,836百万円（令和5年会計年度）

5. 連絡先

【連絡先】TEL 096-381-4000（代表）／FAX 096-381-2204（代表）

1

会社概要

6. 会計年度

【期首】1月

【期末】12月

7. 経営理念、基本方針、行動方針

経営理念	私たちの使命は創造的で安全安心な地域づくりに貢献すること
基本方針	私たちは誠意と熱意をもって顧客の信頼に応えます 私たちは創意工夫をもって新しい技術に挑戦し続けます 私たちは社員の幸福と社会の継続的な発展のために適正利潤を追求します
行動方針	誠実、謙虚で努力を惜しまないこと 明るく前向きで、建設的な態度であること 互いに助け合い、協同、協調に重きを置くこと 他者への配慮を忘れず、よき信頼関係を築くこと 仕事の結果にかかわらず、常に感謝の心を持つこと

8. 有資格者〔2024年4月現在〕

資格名	取得者数	資格名	取得者数
技術士(総合技術監理部門)	3名	斜面判定士	3名
技術士(建設部門)	6名	農業水利施設機能総合診断士	2名
技術士(農業部門)	5名	水産工学士	1名
技術士(上下水道部門)	1名	労働安全コンサルタント	1名
技術士(森林土木)	1名	測量士	37名
技術士補	7名	測量士補	13名
上級土木技術者	1名	地籍調査管理技術者	11名
APEC エンジニア(Civil)	1名	地籍主任調査員	12名
RCCM	8名	補償業務管理士(7部門)	19名
農業土木技術管理士	4名	一級建築士	1名
1級土木施工管理技士	13名	二級建築士	2名
2級土木施工管理技士	6名	不動産鑑定士	2名
畑地かんがい技士	3名	土地改良補償業務管理者	5名
コンクリート診断士	3名	学芸員	4名
土木鋼構造診断士	1名	埋蔵文化財調査士	1名
河川点検士	8名	基本情報技術者	3名
道路橋点検士	4名	情報セキュリティマネジメント	1名
地質調査技士	1名	初級システムアドミニストレータ	2名

2 環境経営方針

1. 環境経営方針（2023年8月1日～2024年6月30日）

株式会社 ARIAKE 環境経営方針

1. 基本理念

社会基盤整備に伴う測量・調査・設計などのコンサルタント業務をとおして、創造的で安全安心な地域づくりに貢献します。地球環境の保全に配慮した活動を積極的に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

2. 環境保全への行動指針

- ① SDGs（持続可能な開発目標）の達成を目指し、持続可能な地域づくりのために、環境保全活動に取り組みます。
- ② 測量・調査・設計等の業務の中でICT技術・3次元データ（i-con・CIM）を取り入れた業務の改善に努め、生産性の向上に努めます。
- ③ 事業活動における環境への負荷を把握し、環境負荷の低減に努めます。
- ④ 環境に影響を及ぼす業務においては、積極的に環境負荷低減に配慮した工法及び材料の提案を行い、環境保全に取り組みます。
- ⑤ 環境保全活動に関する教育・啓発活動を定期的に行い、環境経営方針の理解と周知・徹底に努めます。
- ⑥ 継続的にグリーン購入を推進し、環境保全活動に寄与します。
- ⑦ 化学物質等については、使用方法を熟知し、適正に利用・保管します。
- ⑧ 環境保全活動は、それぞれの役割を認識し、創意工夫をもって推進します。
- ⑨ 環境保全に関連する法令、その他規則などを常に確認し、遵守します。
- ⑩ 【4R [R e f u s e（リフューズ）ゴミになるものを断る／R e d u c e（リデュース）ゴミを減らす／R e u s e（リユース）繰り返し使う／R e c y c l e（リサイクル）資源を再利用する】の実践を行う。
- ⑪ 上記の活動に取り組みつつ、環境経営システムの継続的改善に努めます。

制定日：平成22年12月29日

改定日：令和5年8月1日

株式会社 ARIAKE

代表取締役

藤本祐二

2. 環境経営方針（2024年7月1日～）

株式会社 ARIAKE 環境経営方針

1. 基本理念

社会基盤整備に伴う測量・調査・設計などのコンサルタント業務をとおして、創造的で安全安心な地域づくりに貢献します。地球環境の保全に配慮した活動を積極的に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

2. 環境保全への行動指針

- ① SDGs（持続可能な開発目標）の達成を目指し、持続可能な地域づくりのために、環境保全活動に取り組みます。
- ② 測量・調査・設計等の業務の中でICT技術・3次元データ（i-con・CIM）を取り入れた業務の改善に努め、生産性の向上に努めます。
- ③ 事業活動における環境への負荷を把握し、環境負荷の低減に努めます。
- ④ 環境に影響を及ぼす業務においては、積極的に環境負荷低減に配慮した工法及び材料の提案を行い、環境保全に取り組みます。
- ⑤ 環境保全活動に関する教育・啓発活動を定期的実施し、環境経営方針の理解と周知・徹底に努めます。
- ⑥ 継続的にグリーン購入を推進し、環境保全活動に寄与します。
- ⑦ 化学物質等については、使用方法を熟知し、適正に利用・保管します。
- ⑧ 環境保全活動は、それぞれの役割を認識し、創意工夫をもって推進します。
- ⑨ 環境保全に関連する法令、その他規則などを常に確認し、遵守します。
- ⑩ ゴミを減らすために5Rの活動を行います。
【Reduce】削減 【Reuse】再利用 【Recycle】再資源化
【Refuse】拒否 【Repair】修理
- ⑪ 上記の活動に取り組みつつ、環境経営システムの継続的改善に努めます。

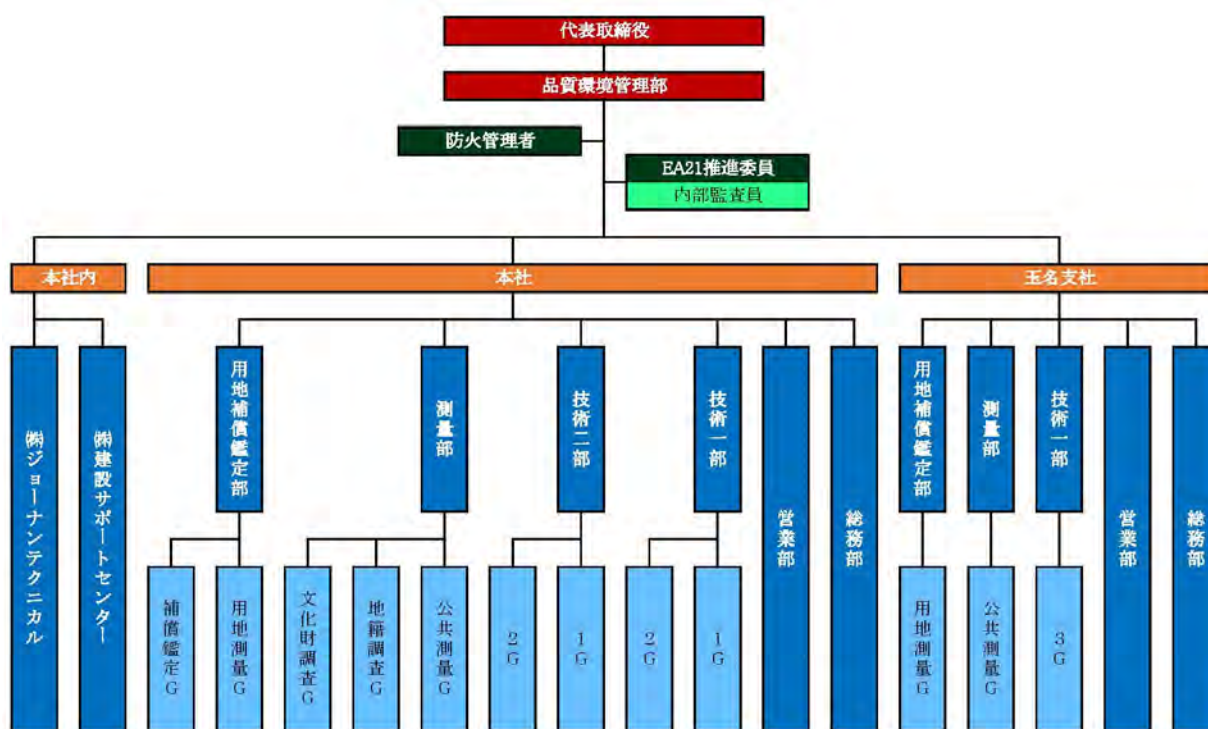
制定日：平成22年12月29日

改定日：令和6年7月1日

株式会社 ARIAKE

代表取締役

藤本祐二



責 任	役 割
代表者	■ 環境経営方針を策定する。 ■ 環境管理責任者を選定する。 ■ E A 2 1 の全体的な取り組み状況を評価し、見直し、必要な指示を行なう。 ■ 環境保全に関する経営資源の提供。
品質環境管理部	■ E A 2 1 活動を構築し統括する。 ■ E A 2 1 の運用状況を報告する。 ■ 環境経営レポートを作成する。 ■ 環境計画の提言と進捗管理を行う。
防火管理者	■ 消火器の点検 ■ 火災報知機の点検 ■ 防火訓練、教育の実施
E A 2 1 推進委員 [内部監査員]	■ 環境活動に対して検討する。 ■ 決定事項を社員に指示管理する。
社員	■ 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する。 ■ 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動に参加する。 ■ 環境活動で気づいた事があれば改善点を提案する。

分類	番号	項目／単位		令和 5 年度 実績値	環境目標 [前年度比 1%削減]		
					令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
要求項目	1	二酸化炭素排出量 [CO2 排出係数] 0.462 kg-CO ₂ /kWh	kg-CO ₂	182,409.65	180,585.55	178,779.69	176,991.90
		① 電気使用量	kWh	156,183.99	154,622.15	153,075.92	151,545.15
		本社	kWh	99,663.00	98,666.37	97,679.70	96,702.90
		玉名支社	kWh	30,503.99	30,198.95	29,896.96	29,597.99
		営業所	kWh	26,017.00	25,756.83	25,499.26	25,244.26
		② ガソリン使用量	L	42,885.10	42,456.24	42,031.68	41,611.36
		③ 軽油使用量	L	3,964.68	3,925.03	3,885.78	3,846.92
		④ 灯油	L	74.00	73.26	72.52	71.80
		本社	L	0.00	0.00	0.00	0.00
		玉名支社	L	0.00	0.00	0.00	0.00
		営業所	L	74.00	73.26	72.52	71.80
		⑤ 液化石油ガス (LPG)	Kg	115.36	114.19	113.05	111.93
		本社	kg	95.20	94.24	93.30	92.37
		玉名支社	kg	20.16	19.95	19.75	19.56
		営業所	kg	0.00	0.00	0.00	0.00
	2	廃棄物排出量	kg	4,267.68	4,225.00	4,182.75	4,140.91
		本社	kg	3,401.00	3,366.99	3,333.32	3,299.98
		玉名支社	kg	627.00	620.73	614.52	608.37
		営業所	kg	239.68	237.28	234.91	232.56
	3	水使用量	m ³	942.13	932.71	923.37	914.13
		本社	m ³	560.00	554.40	548.85	543.36
		玉名支社	m ³	157.13	155.56	154.00	152.46
		営業所	m ³	225.00	222.75	220.52	218.31
	4	化学物質の適切な管理 (塗料、接着剤)	管理状況の確認 1回/月				

【注記】株式会社建設サポートセンター及び株式会社ジョーナンテクニカルは本社に含む。

分類	番号	項目／単位		令和 5 年度 実績値	環境目標 [前年度比 1%削減]		
					令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
努力項目	5 ◆	熊本県 SDGs の推進		取組推進	更新	取組推進	取組推進
	6 ◆	電子申請システム 〔㈱建設サポートセンター〕	生産性向上に向けたシステムの開発・改善				
	7	社会貢献活動	植林活動、道路・河川清掃等 4 回/年				
		地域の清掃の実施	1 回/月				
	8	燃費	km/L	15.40	15.55	15.70	15.86
	9	グリーン購入率	%	48.30	48.78	49.27	49.76
					前年度比 1%増を目標とする 熊本県 SDGs 登録制度取組基本項目		
	10	紙の購入量	kg	2,511.16	2,486.04	2,461.18	2,436.57
					前年度比 1%減を目標とする 熊本県 SDGs 登録制度取組基本項目		

【注記】 0.462kg-CO₂/kWh 九州電力株式会社の 2022 年度の二酸化炭素排出係数

「九州電力株式会社ホームページ CO₂ 排出係数について」より

https://www.kyuden.co.jp/environment_notice02.html

【注記】 ◆については、令和 3 年度からの項目

【注記】 上記の環境経営目標は、本社事務所内に併設されている関連会社（株）建設サポートセンター及び（株）ジョーナンテクニカルの活動を含めた目標である。

5

主な環境活動

分類	項目	具体的な活動	事務所	現場	評価
要求項目	1-① 電気使用量の削減	昼休みの消灯	○	－	○
		使用時以外のトイレ、会議室の消灯	○	－	○
		冷暖房設定温度の厳守	○	－	○
		ＯＡ機器の退社時の電源ＯＦＦ	○	－	○
		空調機フィルターの定期的清掃（６月、１２月）	○	－	○
		省エネステッカーによる目で見える周知	○	－	○
		日よけ、ブラインドによる室温上昇防止（６月～１０月）	○	－	○
	1-② ガソリン 1-③ 軽油の使用量削減 〔努力項目〕 ８ 燃費	アイドリングストップの推進	－	○	○
		経済運転の推進（急発進、急停止の禁止）	－	○	○
		法定速度の遵守	－	○	○
		車両の相乗りの推進	－	○	○
		車両点検の実施（適正空気圧、異常が無いこと）	－	○	○
		運行状況を記録するアンケートフォーム（ＱＲコード）と共に省資源推進の項目を記載し、またそれを車載する事によって周知	－	○	○
		走行距離の集計、燃費記録の把握	○	－	○
	1-④ 灯油 1-⑤ 液化石油ガス（LPG）	口頭での省エネの推進	○	－	○
	２ 廃棄物排出量の削減	ゴミの分別の徹底	○	－	○
		ゴミ分別、リサイクル等のステッカーによる周知	○	－	○
	３ 水使用量の削減	水使用量の把握	○	－	○
		節水コマ・泡沫器を設置し節水の推進	○	－	○
		節水ステッカーによる目で見える周知	○	－	○
	４ 化学物質の適切な管理 （塗料、接着剤）	整理整頓の実施（毎日）	○	－	○
		漏洩時の後始末の徹底（適時）	○	－	○
		ＳＤＳの取り寄せと内容の理解（適時）	○	－	○
		環境法規の学習（適時）	○	－	○
努力項目	５ 熊本県 SDGs の推進◆	SDGs への取組（P.14～P.19）	○	○	○
	６ 電子申請システム◆	電子申請システムの改善	○	－	○
	７ 地域との環境・社員の環境コミュニケーションの向上	社会貢献活動〔植林活動、道路・河川清掃等〕（４回/年）	－	○	○
		地域の清掃の実施（１回/月）	－	○	○
	９ グリーン購入率の向上	熊本県 SDGs 登録制度取組基本項目			
	１０ 紙の購入量削減	熊本県 SDGs 登録制度取組基本項目			

【凡例】 ○：できている △：だいたいできている ×：できていない

【注記】 環境活動の推進責任者は E A 2 1 推進委員であり、全社員が取り組むように指導する。

【注記】 ◆については、令和 3 年度からの項目

6

環境活動の取組み結果の評価及び今後の取組み

6-1 12ヶ月間の取り組み結果 [運用期間：2023年4月1日～2024年3月31日]

分類	項目	R5年度の目標値 [R4年度実績の1%削減値]	実績	達成度 (%)	結果
要求項目	1. 二酸化炭素排出量 [CO2 排出係数] 0.455 kg-CO ₂ /kWh	186,498.14 kg-CO ₂	181,316.36 kg-CO ₂	102.85	◎
	① 電気使用量	154,194.48 kWh	156,183.99 kWh	98.72	○
	本社	97,711.02 kWh	99,663.00 kWh	98.04	○
	玉名支社	29,531.70 kWh	30,503.99 kWh	96.81	○
	営業所	26,951.76 kWh	26,017.00 kWh	103.59	◎
	② ガソリン使用量	44,987.76 L	42,885.10 L	104.90	◎
	③ 軽油使用量	3,749.71 L	3,964.68 L	94.57	○
	④ 灯油	366.30 L	74.00 L	495.00	◎
	本社	0.00 L	0.00 L	達成	◎
	玉名支社	213.84	0.00 L	達成	◎
	営業所	152.46 L	74.00 L	206.02	◎
	⑤ 液化石油ガス (LPG)	112.66 kg	115.36 Kg	97.65	○
	本社	74.25 kg	95.20 kg	77.99	△
	玉名支社	38.41 kg	20.16 kg	190.52	◎
	営業所	0.00 kg	0.00 kg	達成	◎
	2. 廃棄物排出量	3,606.57 kg	4,267.68 kg	84.50	○
	本社	2,654.19 kg	3,401.00 Kg	78.04	△
	玉名支社	711.81 kg	627.00 kg	113.52	◎
	営業所	240.57 kg	239.68 kg	100.37	◎
	3. 水使用量	953.37 m ³	942.13 m ³	101.19	◎
	本社	634.59 m ³	560.00 m ³	113.31	◎
	玉名支社	117.81 m ³	157.13 m ³	74.97	△
	営業所	200.97 m ³	225.00 m ³	89.32	○
	4. 化学物質の適切な管理 ★	管理状況の確認 1 回/月	管理状況の確認 1 回/月	100	◎
努力項目	5. 熊本県 SDGs の推進 ◆	P. 23～P. 28 参照		-	◎
	6. 電子申請システム ◆	決裁書類の迅速化	P. 29 参照	-	随時 対応中
	7. 地域との環境・社員の環境コミュニケーションの向上 ★	社会貢献活動 [植林活動、道路・河川清掃等] (4 回/年)	社会貢献活動 [植林活動、道路・河川清掃等] (4 回/年)	100	◎
		地域の清掃の実施 (1 回/月)	地域の清掃の実施 (1 回/月)	100	◎
	8. 燃費 ★	15.68 km/L	15.40 km/L	98.21	○
	9. グリーン購入率 ★	40.29 %	48.30 %	119.88	◎
	10. 紙の購入量	3,181.12 kg	2,511.16 Kg	126.67	◎

6-1 12ヶ月間の取組み結果 [運用期間：2023年4月1日～2024年3月31日]

【注記】 0.445kg-CO₂/kWh 九州電力送配電株式会社の二酸化炭素排出係数
「電気事業者別排出量係数-R1 年度実績-R3.1.7 環境省・経済産業省
公表」内、九州電力送配電株式会社より

【注記】 取組結果の達成度は、是正処置の基準に合わせ、100%以上を◎、80%以上を○として
いる。

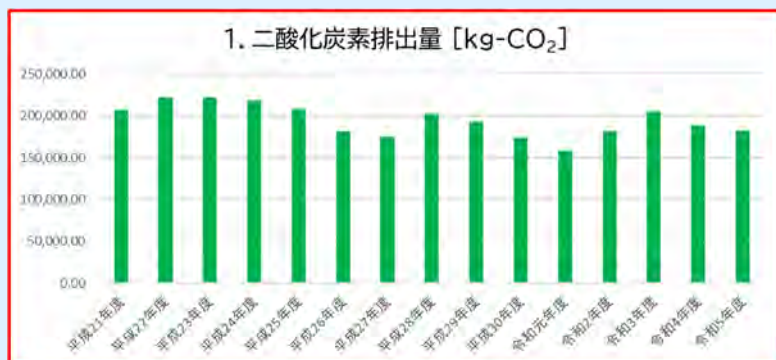
【注記】 達成度は、目標値／実績*100 とするが、★印については、実績／目標値*100 とした。

【注記】 ◆については、令和3年度からの項目

【注記】 株式会社建設サポートセンターは本社に含む。

6-2 12ヶ月間の取り組みの評価 [グラフは過去の環境経営レポートより]

二酸化炭素排出量



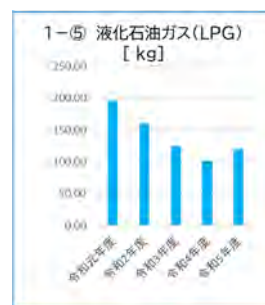
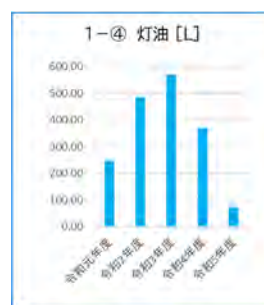
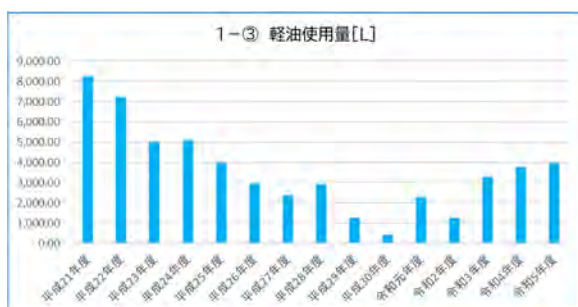
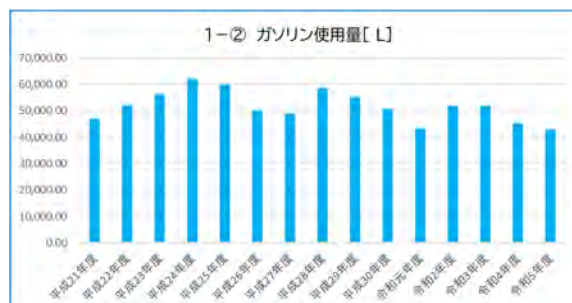
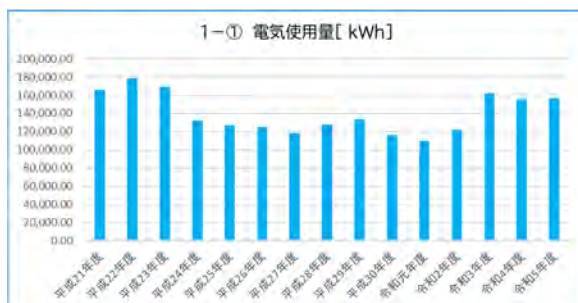
【二酸化炭素排出量項目】

- 電気使用量
- ガソリン使用量
- 軽油使用量
- 灯油
- 液化石油ガス(LPG)

【評価】

令和5年度の二酸化炭素排出量は、事業量の減少(完成工事高前会計年度比△8.5%)があったとはいえ、継続的な取り組みにより設定した目標を達成したといえる。

玉名支社の新社屋移転に伴う影響も懸念されたが、主要な項目については取り組みの効果が維持できている。

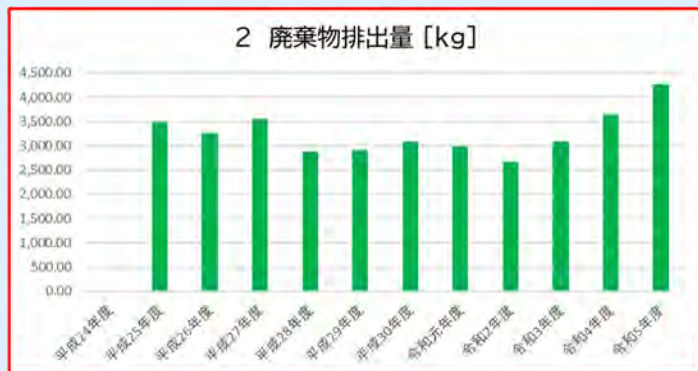


6

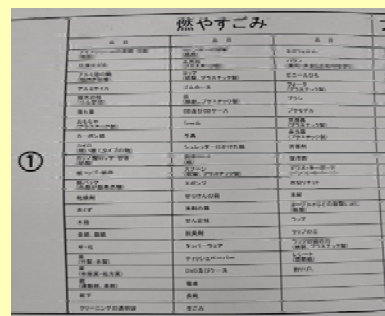
環境活動の取組み結果の評価及び今後の取組み

6-2 12ヶ月間の取組みの評価 [グラフは過去の環境経営レポートより]

廃棄物排出量



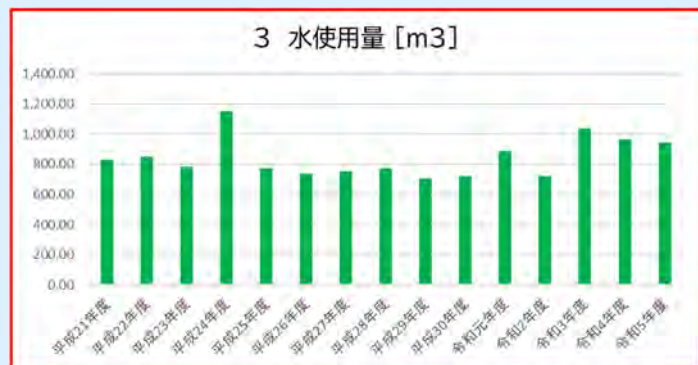
[ゴミ収集場所に掲示]



【評価】

令和5年度の廃棄物排出量は本社3階の様様替え実施を主たる要因として目標値をやや下回っているが、日々の取り組みは継続して行っている。

水使用量



[節水ステッカーの貼付]



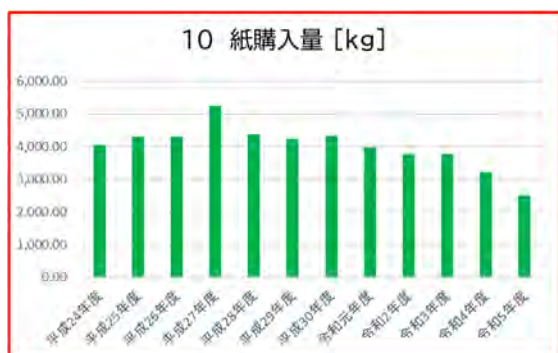
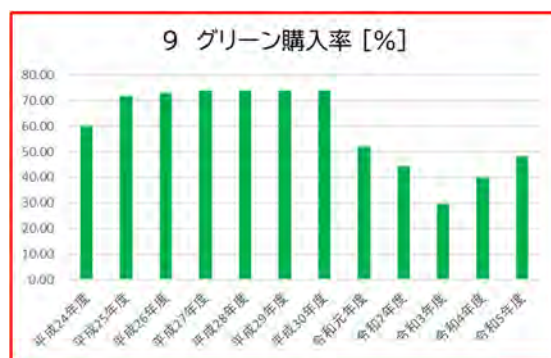
【評価】

水使用量は概ね目標値を達成できたと評価している。

玉名支社の使用量増については、社屋移転(設備の相違)と人員増加(本社からの移動)の影響が大きいとみられるが、会社全体の使用量としてはよく抑えられていると考える。

6-2 12ヶ月間の取組みの評価 [グラフは過去の環境経営レポートより]

- 社屋周辺では、定期的に道路清掃活動等に取り組んでいる。また、今年度もコロナ対策には十分留意しつつ、環境保全活動の一環として、植林、河川清掃等のボランティア活動への積極的な参加を行っている。
- **5 R運動** 【〔**R**educe（リデュース）ゴミを発生させない〕〔**R**euse（リユース）ものを繰り返し使う〕〔**R**ecycle（リサイクル）資源として再利用する〕〔**R**efuse（リフューズ）断る〕〔**R**epair（リペア）修理して再生利用する〕】を継続して推進している。
令和5年は日常の継続的な活動を基本に、事業量の減少や玉名支社新社屋への移転の影響を受けつつも、各要求項目ともに概ね目標達成となっている。
また、社内電子申請システムの整備の効果もあって、購入量はこのところ減少傾向が顕著である。
- 化学物質（塗料、接着剤等）については、各事業所の管理担当者による保管場所の月1回の目視確認が適宜実施されており、問題ない。
- グリーン購入対象品（文具類等）については、一時購入率が低下傾向にあったが、ここ2年は改善傾向にある。今後も引き続き、環境負荷の低減を考慮しつつ、品質、予算の制約も踏まえた上で、購入推進を実施していく必要がある。
- 10月、11月に本社、玉名支社それぞれにおいて、避難訓練、消化訓練等を実施。



6-3 今後の取組み

- 今後も環境管理責任者、E A 2 1 推進委員及び社員一人一人が環境活動の役割分担に基づき、継続して取組みます。
- S D G s（持続可能な開発目標）の達成に貢献すべく、様々な活動を通して、社会的責任を果たします。
- 測量・調査・設計・補償等の業務を主に官公庁から受注しているため、発注機関に環境保全に対する取組みを積極的にアピールしていきます。
- 建設コンサルタント会社として、環境に配慮した工法・資材、部材等の使用の提案、工期短縮につながる工法の提案等を積極的に行い、環境負荷の低減に努めます。
- 現場業務（測量、現地調査等）が多く車の走行距離が伸びる傾向にあるので、エコドライブを徹底しガソリン消費量と同時に、燃費（km/L）でのデータ管理を行い、C O 2 排出の削減に努めます。
- 環境保全に貢献する取組の一環として、時短を推進しています。
平成 30 年度から 4 月～10 月の 6 か月間については毎週水曜日をノー残業デーと決めました。
- 5 R を、本年度から継続して推進します。
- 社内決裁文書のペーパーレス化に、引き続き取り組みます。
- 九州地方整備局の O B で組織している災害支援のボランティア団体「九州防災エキスパート会菊池川支部」の活動に参画し、防災・災害復旧等の行政支援を通じた環境保全活動に取り組みます。

「SDGs 達成に向けた取組みチェックリスト」より

分類	熊本県 SDGs 登録制度	当社における具体的な取組	主な SDGs
組織・公正な取引	内部管理体制	経営理念・基本方針・行動方針を明文化し、経営者は会社のあるべき姿を社員に説明するとともに、社員が常用する社内情報共有システムのトップ画面に掲示している。	8 働きがいも 経済成長も 9 産業と地域発展が 持続可能な未来をつくる 17 パートナリシップで 目標を達成しよう
	法令順守	全従業員に対し、法令順守の重要性を職場の内部監査等で啓発を行うとともに、掲示板等で情報を発信している。 外部研修セミナーなどに毎年参加し、研鑽に努めている。	16 平和と公正を すすめるために
	公正な競争	会社として公正な取引に努め、外部に委託する場合は明文化した注文書で経営者まで決裁を受けることとしている。	10 人や国の不平等を なくそう 16 平和と公正を すすめるために
	組織体制	管理責任者（担当取締役）や担当者を任命し、役割を明確にしたうえで実施している。	16 平和と公正を すすめるために
	知的財産保護	知的財産の保護は、技術力の評価・活性化、成果品の質の向上等に寄与することから、所有権の帰属先や成果物の取り扱い等について常に意識して取り組んでいる。	8 働きがいも 経済成長も 9 産業と地域発展が 持続可能な未来をつくる
	個人情報保護	情報漏洩防止策として「機密文書管理システム」を構築し、管理体制を徹底している。	16 平和と公正を すすめるために
	ステークホルダーとの対話	顧客（発注者）へのアンケートを行い顧客の声（特にクレーム）に耳を傾け、信頼確保向上のため双方向コミュニケーションに取り組んでいる。	16 平和と公正を すすめるために 17 パートナリシップで 目標を達成しよう
	サプライチェーン管理	社内の内部監査や安全大会、さらには、協力会社との研修会を通じて、環境問題・人権侵害等への配慮など問題意識の共有に努めている。	5 ジェンダー平等を 実現しよう 8 働きがいも 経済成長も 10 人や国の不平等を なくそう 12 つくばない つかう賢く 13 気候変動に 具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさも 守ろう 16 平和と公正を すすめるために 17 パートナリシップで 目標を達成しよう

「SDGs 達成に向けた取組みチェックリスト」より

分類	熊本県 SDGs 登録制度	当社における具体的な取組	主な SDGs
労働・人権	差別の禁止	雇用、教育、昇進、福利厚生などあらゆる雇用条件および職場環境において、差別しない体制・運営を行っている。	    
	労働安全衛生	社内での安全大会や協力会社を含めた安全管理・品質管理研修会を毎年実施し、労働環境の整備に取り組んでいる。	 
	公正な待遇	従業員（正社員、契約社員、臨時職員）の公正な待遇を行っている。	  
	ワークライフバランス	残業時間の管理徹底や業務効率化による労働時間の短縮、完全週休2日制の導入など働き方改革に積極的に取り組み、有給休暇など取得奨励を実施している。	   
	人材育成	社内研修や必要経費の支給など環境整備を図り、外部研修の受講や各種資格の取得を奨励している。また、取得後は、資格手当も支給している。	   
	健康経営	月初めの合同朝礼時に交通事故や現場事故等への注意喚起を行うとともに、会社主催のイベントなどを通じて心身の健康増進へ取り組んでいる。	  
	ダイバーシティ経営	業務運営、資格取得、昇進昇格等すべてにおいて、人種、性別などの違いによる差別的待遇はない。	    
	新しい生活様式への対応	一日3回の執務室窓開けや非接触型検温計器の設置、更には、業務終了後、次亜鉛素酸噴霧による夜間消毒など新型コロナウイルス拡大防止策を徹底している。また、状況に応じて、テレワークやウェブ会議等も実施している。	    

「SDGs 達成に向けた取組みチェックリスト」より

分類	熊本県 SDGs 登録制度	当社における具体的な取組	主な SDGs
労働・人権	デジタルトランスフォーメーション (DX) の推進	ドローンや高精度 GNSS などを活用した測量や3次元モデルを導入した設計など ICT 技術を積極的に取り入れ、業務の効率化、生産性の向上を図っている。	   
	ブライト企業	ブライト企業に 2018 年認定を受けている	    
環境	環境汚染予防	化学物質等の使用方法を熟知し、月 1 回の状況確認を行うなど適切な管理及び処理に取り組んでいる。	     
	エネルギー	年度毎の環境目標を立て推進委員が全社員に対し指導を行うとともに、簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量を把握し削減に取り組んでいる。	 
	温暖化対策	年度毎の環境目標を立て推進委員が全社員に対し指導を行うとともに、簡易計算シート等を用いて CO2 排出量を把握し削減に取り組んでいる。	     
	生物多様性	積極的に環境負荷低減に配慮した工法及び材料の提案を行い、生物多様性の保全に努めている。	  
	効率的な資源利用	電子化できるものは電子化しペーパーレス化を促進するとともに、両面コピー、両面印刷、一度使用した紙の裏面再使用を図っている。	   
	水の管理	水源涵養に寄与するため植林活動に取り組んでいる。 水の使用量を把握するとともに、節水コマの設置や節水ステッカーの貼付などを通じて社員に周知している。	     

「SDGs 達成に向けた取組みチェックリスト」より

分類	熊本県 SDGs 登録制度	当社における具体的な取組	主な SDGs
環境	環境に配慮した製品等	紙の購入量の削減、グリーン購入率の向上に向け、可能な限り取組んでいる。	    
	食品ロスの削減	玉名市主催【九看大生等支援×SDGs】のフードドライブに参加しました。(2021. 10. 12)	      
	緑の保全管理	水源涵養に寄与するため、年 4 回程度の植林活動に取組んでいる。	   
	植林等の取組み	水源涵養に寄与するため、年 4 回程度の植林活動に取組んでいる。	    
製品・サービス	製品・サービスの安全性と品質	ISO9001 を 2000 年に取得し現在も継続中である。 提供する成果物・サービスの品質を確保するため、顧客（発注者）へのアンケートを行い、顧客の声（特にクレーム）に耳を傾け、改善点を明確にし PDCA に取組んでいる。	  
	ユニバーサルデザイン	建設コンサルタントとしての日ごろの業務の中で、ユニバーサルデザインに配慮した工法及び材料の提案を継続的に行い、環境整備に努めている。	   

「SDGs 達成に向けた取組みチェックリスト」より

分類	熊本県 SDGs 登録制度	当社における具体的な取組	主な SDGs
持続可能な社会・地方創生	地域への参画	地域事業者として、植林活動や河川清掃に各々年 4 回程度参加している。 毎月の営業日において、社屋周辺の道路清掃活動を実施している。	                
	防災・減災・レジリエンス [自助]	避難訓練・防災訓練を実施した (2021. 10. 1) 事業所内に防災備蓄品を整備した (2022. 3. 2) 引き続き備蓄品充実に努める	   
	防災・減災・レジリエンス (共助)	防災意識の向上のため積極的に上級救命講習を受講し、現在 67% の社員が資格を取得している。 本社を含む 6 事業所に AED を設置しました。(2021.6.7)	       
	インターンシップ等の受入れ	毎年、高校生や専門学校のインターンシップを積極的に受け入れている。	   
	若者の地元定着等	高校生向けのガイダンスに出席したり、人材情報サービスのポータルサイトに登録するなど、県内若者の雇用促進に積極的に取り組んでいる。	  



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価・結果並びに違反・訴訟等の有無

8-1 環境法規制登録表（兼）評価表

法規制等	適用内容	対象設備、施設	届出	遵守事項(法規制/自主規制)	頻度等	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物の適切な管理	一般廃棄物	—	〔法規制〕 1. 熊本市役所、玉名市役所の許可書等で確認し、適切な業者への依頼 2. 営業所及び出張所の事業所で出たゴミは各自治体のルールに従い適切に処理 〔自主規制〕 1. 分別、清掃の実施、飛散、漏洩の防止	廃棄物発生時 廃棄物発生時 1回/週(確認)	○ ○
	水銀使用廃製品の適切な管理	蛍光灯 水銀使用電池	—	〔法規制〕 1. 熊本市役所、玉名市役所の許可書等で確認し、適切な業者への依頼 2. 適切な分別、廃棄物収集場所の提示	廃棄物発生時	○
家電リサイクル法	特定家電	テレビ 冷蔵庫 家庭用エアコン	—	〔法規制〕 1. リサイクル料支払い 2. 廃棄時適切な業者への依頼	廃棄物発生時 廃棄物発生時	○ ○
リサイクル法	PC類の適切な廃棄	パソコン類	—	〔法規制〕 1. リサイクル料支払い 2. 廃棄時適切な業者への依頼 3. メーカーの引き取り	廃棄物発生時 廃棄物発生時 廃棄物発生時	○ ○ ○
自動車リサイクル法	社用車の適切な廃棄	社用車	—	〔法規制〕 1. リサイクル料支払い 2. 廃棄時適切な業者への依頼	廃棄物発生時 廃棄物発生時	○ ○
騒音規制法 (「熊本県生活環境の保全に関する条例」で騒音規制)	大型エアコンの騒音防止	大型エアコン 原動機:2.25kw以上	○	〔法規制〕 1. 特定施設設置(使用)届出(熊本市役所、玉名市役所) 2. 異常音発生時の停止、整理	設置時 異常時	○ ○
フロン排出抑制法	大型エアコンの適切な廃棄(フロン使用)	大型エアコン (フロン使用)	—	〔法規制〕 1. 簡易点検の実施 2. 廃棄時適切な業者への依頼 3. 回収委託書発行、引取証明書受理(3年保管)	3か月に1回 支払い時 廃棄時	○ ○ ○
消防法	事務所、作業所の消防設備	建屋	—	〔法規制〕 1. 消火器の設置 2. 非常口の確保 3. 火災発生時の安全な避難と119番通報 〔自主規制〕 1. 定期的な火災に関する教育・訓練の実施	随時 随時 火災発生時 1回/年	○ ○ ○ ○
	危険物の適切な管理	塗料、接着剤	—	〔法規制〕 1. 名称記載(商品に記載されている) 2. 盗難防止(倉庫シャッター閉)	随時 随時	○ ○

【その他】

発注者の環境に対する要求事項[共通仕様書、特記仕様書、監督員の指示事項(業務打合せ協議簿)]に準拠する。

8-2 環境関連法規の遵守状況及び訴訟等の有無

- 環境法規一覧表で遵守状況を評価した結果、当社が遵守すべき環境関連法規及び条例に対する違反はありませんでした。また、発注者等からの違反などの指摘もありませんでした。
- 現地での作業（測量、調査等）に対する違反、関係当局による指摘もありませんでした。
- 環境に関する苦情、訴訟等もありませんでした。

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価・結果並びに違反・訴訟等の有無

8-3 業務表彰

■環境に悪い影響を及ぼす災害の拡大防止への対応や防災・減災に向けた設計業務等に対し、各関係機関より多くの表彰を頂いています。

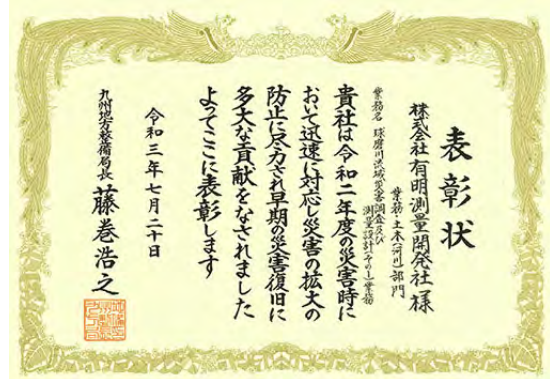
2021年度

エコアクション 21 認証・登録永年感謝状



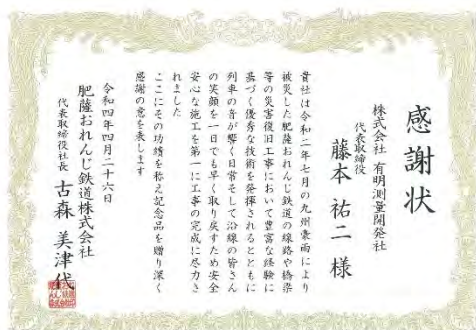
2023.07.20

九州地方整備局長感謝状(R2 災害)



2022.04.26

肥薩おれんじ鉄道㈱感謝状(R2.7 豪雨)



2022.07.01

熊本県農村振興技術連盟優良業務表彰



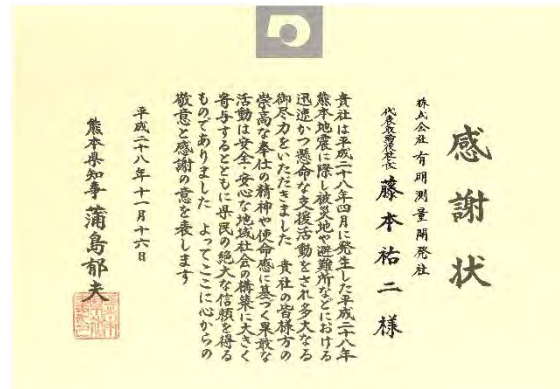
2020.03.30

福島県県中建設事務所長より感謝状



2016.11.16

熊本県知事より感謝状



9 代表者による全体評価と見直しの結果

- 環境経営目標、計画は当社の事業内容に即した実現性のあるものとして設定、策定しており、今後もこれを基本とし、継続して取り組んで参ります。
- 実施体制は社内の組織変更に応じて改定すべきであり、今回は社内の部門再編と、関連会社の社内移転に伴う実施体制の改定が必要と考えております。
- 令和5年度は事業量が減少し、玉名支社新社屋への移転の影響を受けつつも、二酸化炭素排出量は設定した目標を達成しており、社内文書等のペーパーレス化がさらに進展するなど、全体としては概ねよい取り組みであったと評価しております。但し、目標に達していない項目もいくつかみられるため、下記の活動を踏まえたうえで、今後も一層の努力を重ねて参ります。
- エコアクション21活動も、2011年9月の登録から13年目となり、社員の環境に対する意識が浸透している状況である。今後も「環境経営方針」に基づき、継続的な環境経営及び環境保全活動に取り組んで参ります。
- 経営方針に掲げる「私たちの使命は創造的で安全・安心な地域づくりに貢献する」のもと国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）を達成するため、安全安心で快適な社会の持続的発展と健全で恵み豊かな環境保全や継承を支える事業活動を展開して参ります。
- 環境関連法規については、社員全員が法令遵守できるよう継続的に取り組みます。また、植林、道路、河川清掃等のボランティア活動にも積極的に参加して参ります。
- 働き方改革を踏まえ過度な長期間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進するとともに、環境負荷の軽減や生産性向上の観点から無人航空機（UAV: Unmanned Aerial Vehicle）、ICT技術等を活用した業務処理に積極的に取り組んで参ります。
- また、高度経済成長期に建設された社会インフラは今後急速に老朽化することが懸念されます。老朽化した施設を撤去して新たに建設するより維持管理に重点を置く社会は、地球環境への負荷を大きく削減できる可能性を秘めていると思います。効率的なインフラ整備・維持と高度な公共サービス、そして環境への配慮を同時に取り組むため、ICT技術等の積極的導入と人材育成に努めるとともに業務拡大を図って参ります。
- 新型コロナウイルス感染症対策を契機として、新しい生活様式を踏まえた仕事の進め方・職場環境の構築が必要とされているほか、緊急事態下においても事業が継続できるよう、テレワーク・WEB会議、これに即応する勤怠業務管理等の整備を進め、引き続き持続可能な社会の実現に貢献して参ります。
- CO2 排出量削減への取り組みを通じ、地球温暖化の抑止、気候変動の緩和へ貢献します。
- 今年度の環境経営レポート作成時、環境経営方針の改定を予定しており、次回の環境経営方針の見直しにあたっては、持続可能な社会の実現をより強く推進すべく、4RにさらにR（Repair 修理）を一つ加え、5Rとします。

2024年4月1日

代表取締役

藤本祐二

10 環境活動の紹介

「令和2年7月熊本豪雨災害」のボランティアに参加しました

令和2年7月 豪雨被害のボランティア活動



【会社名】
株式会社 有明測量開発社

【期間・場所】
・7月18日 芦北町
・7月19日 人吉市
7月26日 人吉市
9月19日 芦北町

【活動内容・感想等】

災害発生時直後から現場調査に入り、被害状況を目の当たりにし、少しでも復興の力になればとの思いで参加しました。日頃、仕事で培ったチームプレーを発揮し手際よく作業が進み、皆さんに感謝されうれしく思うと共に、災害業務への意欲もより一層高まりました。

定期的に防災訓練をしています

- 2021年10月1日 本社 避難訓練を行いました。
- 2023年6月9日 社内安全大会において、自衛消防隊の班編成と役割及び消火器の配置と避難経路を確認しました。
- 2023年10月2日 本社 消防訓練を行いました。
- 2023年11月15日 玉名支社 避難訓練を行いました。

本社の訓練風景



玉名支社の訓練風景



10 環境活動の紹介

上級救命講習会に参加しています。

受講日	受講人数	受講日	受講人数
2013 年 7 月 26 日	9 名	2022 年 7 月 8 日	7 名
2015 年 8 月 3 日	8 名	2022 年 7 月 27 日	8 名
2018 年 7 月 24 日	5 名	2022 年 11 月 11 日	9 名
2018 年 7 月 27 日	14 名	2023 年 7 月 7 日	10 名
2019 年 7 月 26 日	6 名	2023 年 7 月 14 日	11 名
2019 年 7 月 31 日	14 名	2023 年 7 月 21 日	5 名
2022 年 7 月 1 日	7 名		



10 環境活動の紹介

ペットボトルキャップ支援に賛同しています

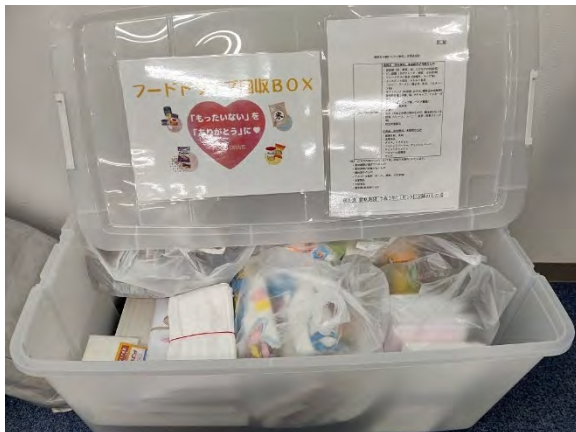
	回収業者への配送日	重量	寄付金額
1	2021. 10. 05	8. 5kg	170 円
2	2022. 10. 07	20. 0kg	400 円
3	2023. 07. 29	13. 0kg	260 円
4	2023. 08. 24	12. 5kg	250 円
5	2023. 09. 25	15. 7kg	314 円
6	2023. 10. 21	18. 6kg	372 円
7	2023. 11. 02	20. 0kg	400 円
8	2023. 12. 05	18. 3kg	366 円
9	2023. 01. 15	5. 7kg	113 円
10	2023. 02. 03	11. 6kg	232 円
11	2023. 03. 23	5. 0kg	100 円
12	2023. 04. 16	14. 5kg	289 円
13	2023. 05. 10	16. 0kg	240 円
14	2024. 06. 15	14. 2kg	213 円
合計		193. 6kg	3, 719 円



10 環境活動の紹介

フードドライブ活動に協力しています

- 2021年10月12日 九州看護福祉大学生等生活支援のためのフードドライブに参加しました。
- 2022年10月4日 熊本県主催のフードドライブに参加しました。
- 2024年10月7日 熊本県主催のフードドライブに参加予定。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

【九看大生等支援×SDGs】支援事業について(お礼)

株式会社有明測量開発社 様

この度は、玉名市が10月8日に実施した、【九看大生等支援×SDGs】支援事業において、貴事業所より、あたたかいご支援を賜り、心から厚く御礼申し上げます。

おかげをもちまして、571名の学生の皆様方へ食料品・日用品をお渡しする事が出来ました。

今後も持続可能な社会の実現の為に、食品ロスの削減に向けた効果的な取り組みを行っていくとともに、生活が困難な学生やひとり親、子ども食堂等に対して、支援を実施致しますので、引き続き、ご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

令和3年10月12日

玉名市長 蔵原 隆浩



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

【九看大生等支援×SDGs】支援事業について(お礼)

株式会社有明測量開発社玉名支社 様

この度は、玉名市が10月8日に実施した、【九看大生等支援×SDGs】支援事業において、貴事業所より、あたたかいご支援を賜り、心から厚く御礼申し上げます。

おかげをもちまして、571名の学生の皆様方へ食料品・日用品をお渡しする事が出来ました。

今後も持続可能な社会の実現の為に、食品ロスの削減に向けた効果的な取り組みを行っていくとともに、生活が困難な学生やひとり親、子ども食堂等に対して、支援を実施致しますので、引き続き、ご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

令和3年10月12日

玉名市長 蔵原 隆浩



10 環境活動の紹介

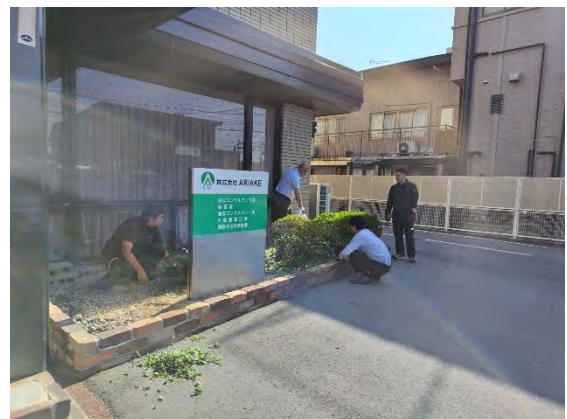
地域とのコミュニケーションを大切にして、地域に貢献しています

周辺道路の清掃を行い、交通の安全確保と同時に道路景観づくりに貢献しています。
社屋周辺の道路清掃及び水路内のゴミ拾い等を始業前から毎朝実施しています。

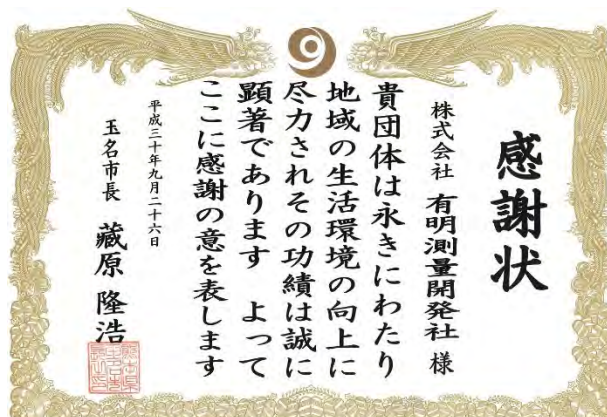
本社社屋周辺



玉名支社社屋周辺



玉名市からの感謝状



10 環境活動の紹介

社員の環境保全活動の向上に取り組んでいます

社員の環境保全に対する啓発活動として植林活動・道路・河川の清掃活動にボランティアとして積極的に参加しています。

参加したボランティア〔2023年4月1日～2024年8月31日〕＊予定含む

- 2023.07.09 NP021 くまもと金峰・有明環境協議会「下草刈りに行きましょう！」
- 2023.08.06 白川流域リバーネットワーク「第20回しらかわの日」
- 2023.10.28 玉名市横島町文化財保存顕彰会「旧玉名干拓施設の堤防除草作業」
- 2023.11.18 大淀川右岸地区管理体制整備推進協議会「天神ダム周辺（千本さくら等）環境整備活動
- 2024.03.03 NP021 くまもと金峰・有明環境協議会「金峰・有明の森づくり」
- 2024.07.07 NP021 くまもと金峰・有明環境協議会「下草刈りに行きましょう！」
- 2024.08.04 白川流域リバーネットワーク「第21回しらかわの日」



10 環境活動の紹介

電子申請システムについて、社員の皆さんの声を集めました

【良かった事】	【要望等】
* スキル管理システムが出来たことによって 研修資料の返却の遅延が無くなった * 決裁の進行状況が分かるようになった * 受注実績等のデータの抽出が便利になった * 紙削減の効果が発揮 * 回覧の効率化 * プロジェクトファイルの簡素化 * ファイルの削減 * 決裁に印受領の必要性が無くなった	* 物品購入の商品入力画面で、過去に注文 した商品がサジェストで出てきたら便利 * 電子化して欲しいもの 協力者関連一式 成果品納品許可伺 * 原価管理、税抜きで統一してはどうか * 年に一回程度、システム利用者と開発担 当者で会議をしてはどうか * 購入計画の際、履歴が見えたら便利 * 帳票様式等、DocuWorks が良いのでは * 自部門の工程管理システムへの編集権限 付与

10 環境活動の紹介

社内のごみ分別ステーションにて資源ごみ等を適切に仕分けしています

本社



玉名支社

